

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.85号> 2018年 3月1日 発行

ごあいさつ

雅な古色に包まれた雛飾りから始まる3月、模様替え等したくなる季節です。

さて、先月25日に閉幕した平昌オリンピックは、スポーツの祭典のみならずそれぞれの競技人生や歴史を映し出すと共に、青春の全てを懸ける選手達の国を超えた友情が、観る者の感動を呼びました。続くパラリンピックにも期待が集まります。

ところで、3月は春闘の山場を迎えますが、今年は百年に一度とされる自動車業界の大転換期。交渉では格差是正や全体の底上げ変化が注目されます。

次に働き方改革関連法案の国会提出は、裁量労働制の調査データに不適切な処理が多数見つかった問題について 衆院予算委員会が紛糾した為、大幅な延期が予想され、野党は追及を強めて行く構えです。

先進国の働き方等を参考に、働く人の視点に立って、議論を深めてくれることを願っています。

一方、去る2月15日より始まった刈谷市議会の3月定例議会では、来年度予算案が上程されました。

市民目線に立ち、合理的で有益な予算が成立されるべく、慎重審議に努め 尽力して参ります。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス <http://y110.jimdo.com>



歳時記

3月 3日 (土) 桃の節句

6日 (火) 啓蟄

7日 (水) 消防記念日

8日 (木) 国際女性デー

14日 (水) ホワイトデー

21日 (水・祝) 春分の日

ネコヤナギの小さな花穂が、ふわふわと丈を伸ばして来ました。街にも柔らかなパステルカラーが溢れ出す頃。

ネコヤナギの花言葉は“努力が報われる”上に向かって勢い良く枝を伸ばす枝の佇まいが幸先良い未来を思わせませす。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



古い歴史を持つ刈谷には、鎌倉時代京都から鎌倉へ続いたとされる街道跡が… さて、ここはどこでしょう？



2/1発行の<No.84>の答えは井ヶ谷町の広沢池北側の土手でした。背後に愛知教育大学キャンパスのグラウンドを臨みながら、静かな里には今日も 惜しみなく早春の陽差しが注がれます。

“ベネルクス三国・ベルギー”への招待☆

天井のない美術館と言われる ブルージュの旧市街、聖母教会に続く小道にも運河は流れる。煉瓦の壁の 倒壊を防ぐための補強金具さえ、美しいデザイン性を持って 街並みに溶け込む。人影まばらな 白壁のペギン会修道院の静寂は、往時半聖半俗の女性達が 信仰を中心として形成した 互助システムの清貧さを物語る。

石畳の一角、地ビール工場から漂う香りに、旅人は思わず足を止める。清んだ水辺をゆったりと滑る白鳥は、遠い昔日から この美しい地を忘れるはずもない。

アントワープを舞台にした フランダースの犬。主人公の少年・ネロが憧れた ノートルダム大聖堂の祭壇を飾る ルーベンスの傑作の足下に、ネロと愛犬・パトラッシュの 最期と言うにはあまりに切ない姿を、ドキュメンタリーのように想い返し 胸を熱くさせられるのは、同じく熱い心をつ観光ガイドの熱弁のせいかな…

学生の街・ゲントのバーフ大聖堂には、ベルギーが誇る門外不出の15世紀の宝ヤン・ファン・エイクの“神秘の子羊”。そそり立つ大作の前に どれ程の信徒が頭を垂れたのだろう。この街にも、悠然と流れる運河は 絶えずひとと在り、生涯を見守り続けてくれる 永い友のように、人々の暮らしの直ぐ傍に 寄り添っていた。

3月の行事予定

2月 15日 (木)～3月23日 (金) 3月定例議会

3月 6日 (火) 中学校卒業式

16日 (金) 刈谷知立環境組合議会

19日 (月) 幼稚園修了式

20日 (火) 小学校卒業式

27日 (火) 特別支援学校竣工式・内覧会

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります !!



2月のフットワーク

3月定例議会が去る2月15日より始まり、本会議初日 市長より新年度に向けた施政方針・議案大綱また教育長より教育行政方針の表明がありました。

【市長 施政方針】(抜粋)

新年度は、次世代を見据えた都市基盤整備を着実に進め、未来に力強く踏み出すと共に、妊娠から子育て期の切れ目のない体制の拡充や企業支援、また 到来する超長寿化時代においても元気で幸せを実感し、住み続けたいまちとなるよう全力で取り組むと力説されました。

(I)	「都市と自然が織りなす住みよいまちづくり」	刈谷駅北地区の駅前機能の充実、刈谷スマートインターチェンジと周辺道路の整備、刈谷駅ホーム拡幅・駅施設大幅改修・連絡通路延伸の検討、南知多歩道橋の具現化調査、等
(II)	「生きる力を育み 喜びを実感できるまちづくり」	特別支援学校と刈谷病院の医療連携、小高原・双葉小・富士松中の大規模改修、小学校空調設備の完備、歴史博物館開館準備、図書館のデジタル化資料閲覧サービス、等
(III)	「人と技術で賑わいを創り笑顔で動き続けられるまちづくり」	中小企業への人材育成支援、就職情報サイト活用の求人活動支援、農作被害の助成、等
(IV)	「支えあい みんなが元気で安心して暮らせるまちづくり」	新生児聴覚検査助成、待機児童対策の充実、住吉・重原幼稚園の統合園の整備、高齢者等の保護対策の充実、自主防災会への補助充実、橋りょうの耐震化、無電柱化、等
(V)	「市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり」	第8次総合計画策定に着手、刈谷市公式アプリの開発、刈谷Free Wi-Fiの拡充、等

【教育長 行政教育方針】(抜粋)

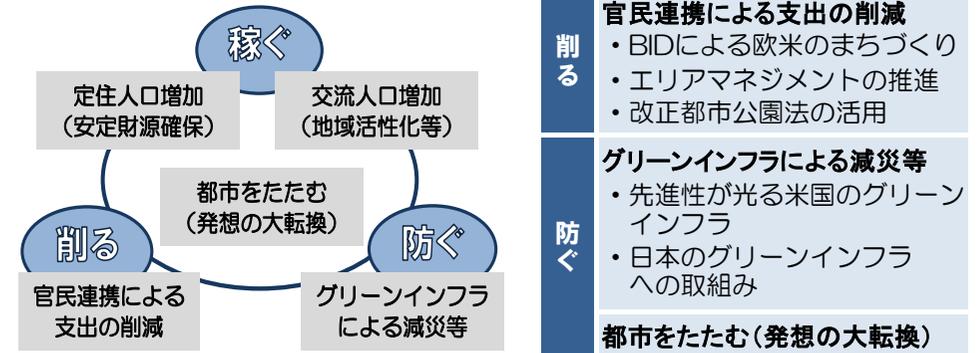
新年度は、刈谷特別支援学校が開校。障害のある子、ない子たちが共に学び、交流し、理解し合える学校にしていきます。子どもたちは、夢と希望と多くの可能性を秘めており、子どもたちが持てる力を発揮し、羽ばたいていける教育活動に取り組むと述べられました。

「学校教育の充実」	(I)	特別支援学校開校に伴う特別支援教育の充実	小垣江東小学校生との交流・共同学習の実践、常時看護師の配置、刈谷・知立・高浜における特別支援教育のセンター的役割を果たす、等
	(II)	次期学習指導要領改訂への対応	小学校の英語学習強化への準備、道徳科評価への準備、等
	(III)	教職員の健康管理	在校時間の縮減、業務改善の加速、部活動のガイドライン策定、等
	(IV)	学習環境整備 安心安全確保	小高原・双葉小学校・富士松中学校の大規模改修、全小学校の空調設備完備、等
「生きがいをもつ生涯学習都市づくり」	(I)	生涯学習の推進	各生涯学習センターでの講座等の充実、図書館のデジタル化資料の閲覧サービス実施、等
	(II)	青少年の健全育成	小垣江東小学校に放課後子ども教室開設、等
	(III)	スポーツの普及と振興	東京五輪の事前キャンプ地・フットサルW杯の誘致、総合運動公園内スポーツ施設の整備、等

衣浦定住自立圏共生ビジョン推進 講演会報告

【日時】平成30年2月2日(金) 15:00～
【場所】刈谷市社会教育センターホール
【講師】株式会社 取締役副社長

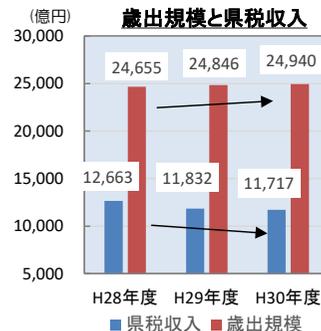
【講演テーマ】
「人口減少時代を見据えたまちづくり」



今回の講義では、稼ぐ・削る・防ぐ(か・け・ふ)の視点で、他市の先進事例を多く交え、持続可能なまちづくりに必要な取り組みを学びました。刈谷市は、今も人口増加にあるものの、将来の人口減少時代を見据え「立地適正化計画」を策定し、集約型都市構造によって、子育て世代の転出や高齢化の進行を抑制する施策を進めています。今後も、今回の講義事例を踏まえ、「選ばれるまち」を目指し、様々な提言ができるよう尽力して参ります。

ユタカ議員協議会 研修会報告

【日時】平成30年2月17日(土) 10:00～
【場所】名古屋キャッスルプラザ
【講師】愛知県 財務担当者
【演題】「愛知県 平成30年度予算案のポイント」



予算確保の収支では、▲1,283億円が不足
補う対応策として、29年度の財源確保により、
・減債基金取り崩しを全額取り止め(880億円)
・財政調整基金取り崩しの一部取り止め(403億円)を行い、それを30年度で再活用し財源を確保。

県税収入が減少する中、歳出規模確保の財源捻出努力が見える化されており、見習うべき内容だった。